

第37回全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会  
 (神戸地方事務局、県人権擁護委員連合会、神戸新聞主催)  
**岩屋中1年、毛利心奏さんが最優秀賞に輝く**



題名  
**「私の弟」**

岩屋中学校1年  
 もうり みかな  
**毛利 心奏**

私の弟は、生まれつき障  
 があります。母に聞いたと  
 ころ、生まれてすぐ、自分で  
 呼吸する力が弱く、口唇チア  
 ノーゼが出たそうです。生ま  
 れて七週間経つても回復しな  
 かったので、気管に管を通  
 して呼吸をしていたそうで  
 す。そのおかげで一週間後には  
 回復できたそうです。しか  
 し、その後の乳児期における  
 弟の発達は、ほかの同じ年の  
 子どもたちに比べ、お座り・  
 指さし・ハイハイなどができ  
 ず、かかりつけの医者から遅  
 滞があると言われました。

親は、理学療法を希望しまし  
 た。その甲斐あつて、弟は歩  
 くことができたそうです。二  
 歳の誕生日を過ぎた頃でした。  
 幼児期から学童期においては、  
 言葉の発達が遅かったため  
 に、〈読み書き〉へしゃべるこ  
 とへ人に伝えることへが難  
 しく、たいへん苦労していま  
 した。この辺りになると、私  
 も少し覚えていきます。周囲の  
 人たちに、正しく理解しても  
 らえないことから、相手に嫌  
 な思いをさせたり、また、相  
 手の一言を間違つた意味でと  
 らえ、マイナスイ感情を自分の  
 中に押し込めて、言い返せな  
 い苛立ちから相手をたたいて  
 しまうことも多かつたよう  
 です。

後悔しました。その時か  
 ら、私は姉として弟の障がい  
 を受け入れ、一人の人として  
 受け止め、理解し、違いを認  
 め、生活をする決心をしまし  
 た。そう決めていても、時に  
 は、両親は弟にだけ優しいと  
 か、弟だけ可愛がつていると  
 思つてしまい、悔しくて泣い  
 たこともありました。中学生  
 になつた今では「弟だけ」と  
 思うこともなく、少しずつで  
 すが、私は変わりました。ケ  
 ンカもなくなり、家の中での  
 弟は、笑顔で穏やかに過ごせ  
 ています。

いろいろな真剣に考え、私が  
 変わったことで「障がい」に  
 少し近づくことができました。  
 もう少し知りたいと思つたの  
 で、障がいについて調べまし  
 た。そのなかで興味を持った  
 のが、「障がい者権利条約」  
 です。これは、障がい者の方々  
 が、受け身的に守られるため  
 の条約ではなく、社会の一員  
 として尊厳をもって生活する  
 ことを目標として、国際的に  
 制定されたものでした。この  
 条約の原則の一つとして、障  
 がいに基づく差別をなくすこ  
 とを掲げていました。「日本  
 障がいフォーラム」が発行し  
 ている小冊子の中に、この条  
 約に関することが書かれてい  
 ました。この冊子を読んでい  
 るうちに、なぜこんな条約が  
 必要なのかわかつてきまし  
 た。一人一人では、差別はい  
 けないものだと思つていま  
 しても、残念なことに差別は生  
 活の中に多く存在しています。  
 解決は難しく、すべての人が  
 平等でもありません。「知つ  
 ている」は、「わかっている」  
 ことではないのだと思いまし  
 た。だからこそ、何が差別か  
 判断する基準として、条約や  
 規則があるのだと思ひました。  
 条約や規則という難しいも  
 ののよに感じますが、「も  
 のさし」として考えると、中  
 学一年生の私でも理解できま  
 す。「ものさし」を基準に一  
 人一人が「それぞれの方々の  
 立場に立つた目線で考え、寄  
 り添い、思いやること」、こ  
 れが差別や偏見をなくす第一  
 歩だと思ひました。

私の弟は障がいを持って生  
 まれたけれど、家族全員で力  
 を合わせ、弟が住みやすい環  
 境を作つていきたいと思いま  
 す。弟と寄り添いながら生活  
 することで、優しい気持ち  
 大切にすることができます。

これから、私は一年一年歳を  
 取り、いろいろな人との出会  
 いがあるでしょう。どんな時  
 も思いやりの心を忘れず、接  
 していききたいと思ひます。そ  
 の中で、心のバリアフリーを  
 みんなに伝えられるよう頑張  
 りたいと考えています。それ  
 が、障がいがある人を超え  
 たすべての人にとつて、住み  
 やすい世の中を作るための原  
 動力になることを願つていま  
 す。

**第13回淡路市人権を  
 考える集いを開催!**

去る、11月23日午後より、  
 ふるさとセンターに於いて  
 「淡路市人権を考える集い」  
 を開催しました。

今年度の人権尊重ポス  
 ター・標語の表彰式と、「在  
 日コリアンの歴史を知ろう」  
 をテーマに、朴保・朴元を  
 迎へ、歌と踊りで楽しみました。

学校の教科書では、詳しく  
 学習することのない、在日コ  
 リアンの歴史を学習し、参加  
 者から「ピアノの演奏での(ア  
 ボゾ)と言う曲を聞き、40年  
 以上前の私の父、30年前の母  
 のぬくもりを久しぶりに感  
 じ、心があたたかく感じまし  
 ました。